

杉村 直哉

1 著書

- 1) 杉村直哉, 他 (2023). 精神科リハビリテーション評価技法ハンドブック. 中外医学社. (共著).
- 2) 杉村直哉, 他 (2023). 作業療法マニュアルシリーズ「うつ病を抱える対象者への作業療法」. 日本作業療法士協会. (編集責任者).
- 3) 杉村直哉, 他 (印刷中). 最新作業療法学講座 精神障害作業療法学. うつ病の作業療法. 医歯薬出版. (共著).

2 学術論文

- 1) 杉村直哉, 他 (2023). 難治性不安症と作業療法. 特集「難治性精神疾患と作業療法」. 臨床作業療法 NOVA 20(3): 46-58.
- 2) 杉村直哉, 他 (印刷中). 不安症の臨床推論. 特集「精神科作業療法と臨床推論」. 臨床作業療法 NOVA 21(4).

3 その他の著作

- 1) 武井勇樹, 飯盛佳子, 高橋健, 菅谷佑樹, 杉村直哉 (2023). 作業療法士による職場のメンタルヘルス対策 企業研修の実践と今後の可能性. 産業精神保健 31(増刊): S137.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 2023.10～ 日本作業療法士協会 メンタルヘルス等産業保健推進委員会 委員長 (～現在)
- 2) 2023.9～ 第66回日本病院・地域精神医学会総会 査読委員 (～2024年12月)
- 3) 2023.7～ 日本うつ病作業療法研究会 理事 (現在に至る)
- 4) 2023.4～ 日本作業療法士協会 作業療法マニュアル編集委員会 委員 (現在に至る)
- 5) 2023.4～ 学術誌『作業療法』第一査読者 (現在に至る)
- 6) 2023.4～ 日本作業療法士協会 学術部 部員 (現在に至る)
- 7) 2023.1～ 日本産業精神保健学会 代議員 (現在に至る)
- 8) 2021.4～ 産業保健作業療法研究会 事務局長 (現在に至る)

5 社会貢献

- 1) 研究指導: 非常勤勤務する医療施設において研究指導を実施 (通年)
- 2) 臨床活動: 非常勤勤務する医療施設においてプログラムを担当 (1回/週)
- 3) 本学オープンキャンパスの企画・運営
- 4) 本学ミニオープンキャンパスの補助

6 講演, 放送

- 1) 2023.7 第20回日本うつ病学会総会. シンポジウム「気分障害を持つ就労者が必要としている支援—就労継続を多職種で考える」(シンポジスト)
- 2) 2023.8 第30回日本産業精神保健学会. 学会企画ワールドカフェ「若手の会」代表参加
- 3) 2023.9 公的精神科病院協会主催精神科作業療法士研修会 ファシリテーター

- 4) 2023.8 神奈川県総合リハビリテーション事業団 地域リハビリテーション連携構築推進事業研修 講師

7 学会等での活動

- 1) (座長) 2023.12 第 66 回日本病院・地域精神医学会総会 一般演題発表
- 2) (発表) 2023.8 第 30 回日本産業精神保健学会. 作業療法士による職場のメンタルヘルス対策 ～企業研修の実践と今後の可能性～. (共同演者)
- 3) (発表) 2023.11 第 57 回日本作業療法学会. オンラインによる多施設共同運営プログラム「合同リワーク学会」の意義に関する考察. (共同演者)

8 学内教育活動

1) 授業関連

【科目責任】

- ・「基礎作業学実習 (1 年次)」

臨床に即した授業内容になるよう講師との調整も含め見直しを図った。また、当科目にかかわる国家試験問題を学習早期から意識づけるよう資料を作成する等の工夫をした。

- ・「見学評価学実習, 評価学実習」

学生へのオリエンテーションも含め, 円滑な実習の実施をサポートした。

【卒業研究】

・4 年生 1 名, 3 年生 1 名を担当した。調査研究を通して基本的な統計処理について教示し, 論文指導を行った。

- ・卒業研究発表会の開催, 卒業研究論文集の発刊を行った。

【一部担当科目】

- ・作業療法学概論(1 年次): 精神障害作業療法の歴史
- ・作業適用学(1 年次): 精神障害事例の検討
- ・評価学概論(1 年次): 作業面接について
- ・精神機能評価学演習(2 年次): 認知機能障害について
- ・感覚運動アプローチ論(3 年次): 精神障害へのアプローチ
- ・精神障害作業療法学演習(3 年次): 精神科デイケア, ICF
- ・遊び余暇活動治療学(3 年次): リラクゼーション法
- ・産業リハビリテーション特論(3 年次): 産業精神保健・職業性ストレスについて
- ・就業援助論(3 年次): 気分障害の職場復帰支援について
- ・作業療法運営管理(4 年次): 管理運営, 国家試験対策
- ・臨床技能評価(2 年次): 精神科 OSCE マニュアルと試験問題を作成
- ・臨床技能評価(3 年次): 精神科 OSCE マニュアルと試験問題を作成, 試験監督

【実習】

- ・評価学実習(3 年次): 学生 2 名担当
- ・総合臨床実習Ⅱ(4 年次): 学生 2 名担当, 実習地訪問
- ・総合臨床実習Ⅰ(3 年次): 学生 2 名担当, 実習地訪問
- ・見学評価学実習(2 年次): 学生 3 名担当

- 2) 臨床実習に係る業務 (学生支援, 実習関連書類作成, 等)

- ・実習地や実習センターとの調整, 学生に対するオリエンテーション実施, 資料作成, 発送, 臨床実習指導者会議のセッティングなど臨床実習に係る業務
 - 3) 就職支援に関連する業務
 - ・就職情報, 就職就職履歴書指導, 小論文指導, 面接指導など就職支援に係る業務
 - ・求人情報の周知, 就職活動の状況把握, 就職先一覧の集約
 - 4) 国家試験に関連する業務
 - ・4年生の国家試験対策における個別学習支援.
- 9 学内各種委員会活動
- 1) 学生委員会
 - 2) 進路支援ワーキンググループ
 - 3) チューター会
 - 4) 作業療法学専攻 臨床実習ワーキンググループ
 - 5) 作業療法学専攻 現任者研修検討ワーキンググループ
作業療法参加型臨床実習 指導者向けシンポジウム「臨床思考過程の教示方法」.(2023.3.9 / 本学実践教育センターとの共催)
 - 6) 作業療法学専攻 入試関連ワーキンググループ
 - 7) 作業療法学専攻 オープンキャンパスの企画担当
- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
- 1) 科学研究費補助金, 若手研究, 研究代表者, 「ブルドン抹消検査を用いたうつ病休職者の新たな復職判定指標の確立」, 2021年4月1日～2025年3月31日, 3900千円
- 11 学内研究助成金の受託
- 1) 研究助成 B, 研究代表者, 「うつ病休業者の IADL 実行状況の実態調査と関連する因子の検討」, 2023年度, 386千円